

Round 7



Outline

土曜日の天候不良により、
1日で予選・決勝をこなす日程に変更
予選14番手から粘り強く追い上げ、
8位入賞でランキング2位を維持。

2024 AUTOBACS SUPER GT Round7 AUTOPOLIS 3Hours RACEが、10月19日(土)～20日(日)に大分県のオートポリスで行われた。天候不良により土曜日の走行セッションが全てキャンセルとなり、日曜日に予選と決勝を行う“ワンデースケジュール”に変更となった。#37 Deloitte TOM'S GR Supra (笹原右京 / ジュリアーノ・アレジ)は、途中、セーフティカー導入の関係でピットインのタイミングを逸する場面があったが、14番グリッドから追い上げて8位入賞を果たした。



Information

circuit	AUTOPOLIS (大分県日田市)	
date	10/19 sat	10/20 sun
weather	雨	曇りのち晴れ
spectators	24,000人 (sat 8,500人 + sun 15,500人)	

Result

37

Car



Deloitte TOM'S GR Supra

Driver


 笹原 右京
Ukyo Sasahara

 ジュリアーノ・アレジ
Giuliano Alesi

予選 14位

決勝 8位

Driver Rank Team Rank

2位

51 points

3位

65 points

予選 笹原 : P14 / 1'34.940
※今大会の予選は、第1～第3ドライバーを問わずベストタイムが採択される方式へ変更となった。

決勝 ファステスト ラップタイム 笹原 : 1'37.792
アレジ : 1'37.833

予選

●天候：曇り ●気温：12℃ ●路面温度：13℃



Qualifying detail

天候不良により予選日程が変更。 好感触を掴むもタイミングが合わず 14番手と悔しい結果に終わる。

シーズンの中で唯一の九州開催となるオートポリス大会だが、土曜日は天候不良にみまわれ、午前の公式練習は濃霧による視界不良でセッション中止。午後に予定されていた公式予選も豪雨の影響で走行が難しくなり、翌朝に順延されることとなった。

スケジュールの変更に伴い、通常とは異なる30分間の計時方式に変更された。前戦の優勝で96kgのサクセスウェイトを積むことになった37号車は、笹原が乗り込んでタイム更新を狙った。前日に降った雨の影響でセッション序盤は路面の一部が濡れている為、各車ともウエットタイヤを装着。その中では上位に食い込む走りを披露していた。路面が乾いたセッション終盤でスリックタイヤを装着し、さらにタイム更新を狙っていったが、ウォームアップ中の他車に引っかけり上手くタイムを上げることができず。最終的に14番手に終わり、3時間で争われる決勝レースで巻き返しを目指すこととなった。

After Qualifying



**周りとのタイミングが合わず、
タイヤのピークを活かせませんでした。**

ドライバー 笹原 右京

最初ウエットタイヤでコースインした時は調子が良さそうだったので、ドライコンディションになった最後のアタックも期待していましたが、うまくタイミングが合わず他のクルマに引っかけり、タイムを上げられませんでした。



**土曜の走行がなかったので
個人的に慎重になっていた。**

ドライバー ジュリアーノ・アレジ

今回は土曜日に全く走行ができなくて、予選も担当しませんでした。決勝前のウォームアップで今週末初めて乗ることになり、手探りなところはありましたが、良い手応えを感じることができました。決勝も力強く戦えそうです。

TGR TEAM Deloitte TOM'S 37



**良い予選ではなかったですが、
決勝で追えます。**

チーム監督 ミハエル・クルム

今回は予選が日曜日の朝に行われることになりましたが、サクセスウェイトの影響があったにせよ良い予選にすることができませんでした。最後にタイムアタックしたタイミングが悪く14位で終わったのは悔しいです。



**サクセスウェイトが重い状況下でも、
もう少しやれることはあった。**

レースエンジニア 大立 健太

燃料リストラクターの影響はありましたが、同じような量のサクセスウェイトを積んでいるライバルの走りを見ると、選択したタイヤやセッティングを含めて、もう少しやりようがあったのかと思います。なんとか追いたいです。

決勝

●天候：晴れ ●気温：14℃ ●路面温度：21℃



Race detail

展開に恵まれない場面があるも、粘り強く追い上げて8位入賞。ランキング2番手を守る。

今回は3時間で争われるため、途中で給油を伴うピットストップが2回必要となる。14番手スタートの37号車は、いつもとは異なりアレジがレース序盤を担当し、中盤と終盤の2スティントを笹原がドライブする作戦をとった。96kgのサクセスウェイトがありながらも、前を走るライバルに離されることなくしっかりと周回を重ねていったアレジ。32周目に1回目のピットストップを行い笹原に交代すると、さらにライバルを追い抜いて行き8番手に浮上した。

その後も順調な走行をみせていたが、ポジションを争うライバルが2回目のピットストップを済ませた直後にアクシデントが発生し、セーフティカーの導入となった。これで37号車はピットに入るタイミングを逸してしまい、レース再開後の68周目にピットイン。上位を狙えるペースがあっただけに悔しい展開となったが、最後まで諦めずにライバルを追い続け、8位でチェッカーフラッグを受けた。

After Race



途中のセーフティカー導入で、展開に恵まれませんでした。

ドライバー 笹原 右京

レース中に何度かセーフティカーが入り、その度に再開後は防戦一方の展開となりました。3段階目の燃料リストラクター制限もあって苦しい部分もありましたが、最終スティントでは36号車と変わらないペースで走れたことは大きな進歩だったと思います。



運がなかったところもあるけど、良いレースができたと思う。

ドライバー ジュリアーノ・アレジ

燃料リストラクターが3ステージ目に入ったレースで、かなり厳しい状況でしたが、うまく行けば5位か6位くらいまで行けたレースでした。セーフティカー導入のタイミングが我々に味方しなかったのは残念ですが、そのなかで8位になれたのは良かったです。

TGR TEAM Deloitte TOM'S **37**



良い流れで走っていただけに、セーフティカー導入は残念でした。

チーム監督 ミハエル・クルム

2回目のピットに入ろうとしたところでセーフティカーが出て、それで順位を落とすことになりました。残念ではありますが、レースではこういうこともあります。そのなかで37号車メンバーはみんな頑張ってくれました。



展開的に不運はありましたが、目標だった8位は達成できました。

レースエンジニア 大立 健太

今回はジュリアーノにスタートを担当してもらいましたが、燃費をセーブしながら前方にしっかり付いていってくれました。1回目のピットでうまく順位を上げられましたが、2回目のピットではセーフティカーのタイミングで順位を落とす結果となりました。

Summary



チームオーナー
館 信秀

36号車と同様にセーフティカー導入のタイミングが影響しましたが、燃料リストラクター制限が3段階目に入るなか、右京とジュリアーノの2人がよく頑張ってくれました。不運はありましたが、結果的に8位で終わられて、少しでもポイントを獲得できたということは大きいと思います。チャンピオン争いにも絡んでいるので、残りの2戦が非常に楽しみです。引き続き、たくさんの応援をよろしくお願いいたします。

Race Scene



Deloitte.

BINGO

